



南中学校通信 No.1
4 月 号
H30年4月9日

平成30年度が新体制でスタートしました

平成30年度の南中学校は、1年生190名(7学級)、2年生161名(4学級)、3年生191名(5学級)、特別支援学級(2学級)の合計542名(18学級)でスタートしました。

先週末に入学式を終えた1年生は、新たな生活による緊張感もあり少々疲れているのではないかと心配をしています。1日も早く中学校生活に慣れ、南中学校の一員として頑張ってもらいたいと思います。

本年度の教職員紹介 校長 中条 明広 教頭 山内 日 主幹教諭 野間 達也
養護教諭 諸井 徳子 事務 岡本 光史 YEF アンソニー 適応指導員 大山口ザナ

1 年 生	2 年 生	3 年 生
1 組担任 永井 雅文(数学)	1 組担任 堀田 真麻(数学)	1 組担任 鈴木 正大(保体)
2 組担任 千種 直也(保体)	2 組担任 平澤 慶樹(数学)	2 組担任 福田 麻美(国語)
3 組担任 松長 則幸(英語)	3 組担任 加藤 陽子(英語)	3 組担任 水谷 朋裕(国語)
4 組担任 森口 慎一(社会)	4 組担任 剣持 秀雄(美術)	4 組担任 舘 美穂(理科)
5 組担任 向井沙代子(国語)	組担任 高橋 唯(社会)	5 組担任 上村 詩織(英語)
6 組担任 星野 真穂(理科)	副担任 伊藤 純絵(理科)	副担任 鎌田 明美(社会)
7 組担任 藤本 隆史(数学)	副担任 廣 友里(国語)	副担任 大河内智子(保体)
副担任 野間 達也(技術)	副担任 向井 啓祐(保体)	副担任 位田 亜矢(英語)
副担任 水谷 由香(家庭)		副担任 森川 幸子(数学)
副担任 早川 麻紀(英語)		副担任 長谷川竜大(音楽)
副担任 東 浩行(理科)		
特別支援学級 8 組担任 荒木 一美 ・ 坂 和彦		
特別支援学級介助員 山田 裕美 ・ 七田 智子		
上記以外に授業を担当する教員		
坂倉富貴子(英語)・早川 仁美(英語)・渡部 裕二(美術)		
高阪 淑代(音楽)・伴 綾子(数学)・杉本 一幸(社会)		

☆☆ 部活動顧問 ☆☆

- 野球部：森口慎一・松長則幸 ○ サッカー部：水谷朋裕・向井啓祐
- ソフトテニス部：(男) 鈴木正大・(女) 堀田真麻・(男女) 福田麻美
- ハンドボール部：千種直也・永井雅文 ○ 陸上競技部：舘 美穂・星野真穂
- バレーボール部：加藤陽子・東 浩行
- バスケットボール部：(男) 大河内智子・(女) 位田亜矢・(男女) 藤本隆史
- 卓球部：(男) 向井沙代子・(女) 剣持秀雄・(男女) 森川幸子
- 剣道部：平澤慶樹・廣 友里 ○ 柔道部：長谷川竜大・水谷由香
- 吹奏楽部：高橋 唯・上村詩織・荒木一美 ○ 美術・工芸部：鎌田明美・早川麻紀
- 家庭部：伊藤純絵・早川麻紀 ○ 社会活動：坂 和彦・野間達也



教育目標 人間性豊かで、輝く生徒を育成する

めざす学校の姿

あしたは もっとたかく！

めざす生徒の姿

自分を大切にし、他人を大切にする生徒

子どもにつけたい力

確かな学力と
将来を切り拓く力

豊かな人間性と
社会性

健やかな体と心

子どもを支える学校づくり

組織を活かした教員の指導力の向上

保護者や地域との信頼関係の確立

教師の行動指針

- ◎ 教師から、挨拶と言葉がけをしよう！
- ◎ 生徒とともに過ごし、心をつなげよう！

☆☆ 学校づくりビジョンについて ☆☆

平成30年度の南中学校の学校づくりビジョンは上記のとおりです。

『人間性豊かで、輝く生徒を育成する』を学校教育目標として本年度も取り組みます。また、『自分を大切にし、他人を大切にする』生徒の育成をすすめることで、めざす学校の姿である『あしたは、もっとたかく』の実現を図っていきます。さらに子どもたちにつけたい力として『確かな学力と将来を切り拓く力』・『豊かな人間性と社会性』・『健やかな体と心』の育成に視点をあて、学校以外の教育資源も活用しながら、全職員で指導の充実を図っていきたくと考えています。

本年度はこの学校づくりビジョンも最終年を迎えており、これまでの取り組みで達成された部分や課題が残った部分を明確にし、ポイントを絞った新たな学校づくりビジョンの構築も並行して行っています。

少人数授業の充実を図ります

本年度は、特に少人数指導の充実をめざした教員配置を行いました。1年生は今年も「よっかいち30人学級」の適用により、各学級とも27人～28人となりました。しかし、2、3年生は各学級とも37人～40人となり、1学級の定員の上限である40名にほぼ達しています。

そこで、問題解決能力の基礎となる「確かな学力の定着」を図るために、2、3年生の英語科と数学科の全ての授業で、少人数指導・ティーム・ティーチング・習熟度別指導等による、きめ細かな対応をすることとしました。さらに、少人数指導においては、学習集団の人数という量的な側面だけではなく、その学習のねらいを達成するためにはどうすればよいかといった「学びの質」も重視した授業改善にも取り組んでいきます。また、少人数指導や習熟度別指導では、それぞれの学習グループが長期化や固定化したりすることで、学習意欲や学習効果を低下させないように、一定期間でグループの入れ替えを行ったり、指導教員を入れ替えたりするなどの工夫も随時行っています。